

脳卒中や意識レベルのスケール を一覧にまとめました

JCS(Japan Coma Scale)

I.覚醒している	
0	意識清明
1	見当識は保たれているが意識清明ではない
2	見当識障害がある
3	自分の名前・生年月日が言えない
Ⅱ.刺激に応じて一時的に覚醒する	
10	普通の呼びかけで開眼する
20	大声で呼びかけたり、強く揺するなどで開眼する
30	痛み刺激を加えつつ、呼びかけを続けると辛うじて開眼する
III.刺激しても覚醒しない	
100	痛みに対して払いのけるなどの動作をする
200	痛み刺激で手足を動かしたり、顔をしかめたりする
300	痛み刺激に対し全く反応しない

GCS(Glasgow Coma Scale)

GCS(Glasgow Corria Scale)		
E:開眼機能		
4	自発的に、またはふつうの呼びかけで開眼	
3	強く呼びかけると開眼	
2	痛み刺激で開眼	
1	痛み刺激でも開眼しない	
	V:言語反応	
5	見当識が保たれている	
4	会話は成立するが見当識が混乱	
3	発語はみられるが会話は成立しない	
2	意味のない発声	
1	発語みられず	
M:運動反応		
6	命令に従って四肢を動かす	
5	痛み刺激に対して手で払いのける	
4	指への痛み刺激に対して四肢を引っ込める	
3	痛み刺激に対して緩徐な屈曲運動(除皮質姿勢)	
2	痛み刺激に対して緩徐な伸展運動(除脳姿勢)	
1	運動みられず	

MMT(徒手的筋力テスト)

	状態	
5	強い抵抗を加えても、運動域全体にわたって動かせる	
4	重力異常の抵抗を加えても肘関節あるいは膝関節の運動を 起こすことができる	
3	重力に拮抗して肘関節または膝関節の運動を起こせる 上肢:なんとか挙上可能、保持はできない	
2	重力を除外すれば、可動域で運動できる。 上下肢:挙上できない	
1	筋収縮は見られるが肘関節あるいは膝関節の運動はできない 上下肢:筋収縮のみ	
0	筋収縮なし、完全麻痺	

日本版modified Rankin Scale(mRS)判定基準書

		•
	modified Rankin Scale	参考にすべき点
0	まったく症候がない	自覚症状および他覚徴候がともに ない状態である
1	症候はあっても明らかな障害はない 日常の勤めや活動は行える	自覚症状および他覚徴候はあるが、発症以前から行って いた仕事や活動に制限はない状態である
2	軽度の障害 発症以前の活動がすべて行 えるわけではないが、自分 の 身の回りのことは介助な しに行える	発症以前から行っていた仕事や活動に制限はあるが、日 常生活は自立している状態である
3	中等度の障害 何らかの介助を必要とする が歩行は介助なしに行える	買い物や公共交通機関を利用した 外出などには介助を 必要とする が、通常歩行、食事、身だしなみ の維持、トイレなどには介助を 必要としない状態である
4	中等度から重度の障害 歩行や身体的要求には介助 が必要である	通常歩行、食事、身だしなみの維持、トイレなどには 介助を必要とするが、持続的な介護は必要としない状 態である
5	重度の障害 寝たきり、失禁状態、常に 介護と見守りを必要とする	常に誰かの介助を必要とする状態 である
6	死亡	

意識状態

		状態
↑	傾眠	刺激がないと眠り込むが名前を呼ぶなどわずかな刺激で容易に覚醒可能
良	昏迷	強い刺激で開眼、あるいは手で払いのけるが十分覚醒できない
悪	半昏睡	強い刺激に対して逃避動作があるが、自動的な体動はほとんどない 腱反射、角膜反射などは良好
\downarrow	昏睡	強い刺激にも反応がなく、自動運動も見られない状態

Brunnstrom stage:中枢性麻痺による共同運動や分離運動の程度を評価

ステージ	上下肢	手指
I	動きなし	動きなし
II	連合運動	わずかに握る
iii	共同運動	握るが開けない
IV	分離運動の開始	横つまみ・わずかな伸展
V	個別的な関節運動	色々なつまみ・伸展可能
VI	全運動可能	全運動可能

FIM(機能的自立度評価)

点数	状態
7	完全自立
6	修正自立
5	監視・促しが必要
4	75%以上自分でできる
3	50~75%自分でできる
2	25~50%自分でできる
1	25%未満しかできない/全介助

NIH Stroke Scale (NIHSS)

NIH Stroke Scale (NIHSS)	
意識レ	ベルの質問:①「今日は何月ですか?」
	②「年齢はおいくつですか?」を質問
0	2問とも正答
1	1 問正答
2	1つも正答できない
覚醒レ	ベルの従命:①「開閉眼」②「離握手」を指示
0	2つとも従命可能
1	1つのみ従命可能
2	1 つも従命できない
注視:	左右の眼球運動(追視)を指示する
0	正常
1	部分的注視麻痺
2	完全注視麻痺
視野:	片眼ずつ対座法にて四分視野の指数を訪ねる
0	視野欠損なし
1	部分的半盲(四分盲を含む)
2	完全半盲(同名半盲を含む)
3	両側性半盲
	10秒間上肢を挙上させる
	(座位では90°、臥位では45°)
0	10秒保持可能
1	10秒以内に下垂
2	重力に抗するが10秒以内落下
3	重力に抗する動きが見られない
4	全く動きなし
	5秒間下肢拳上(臥位30°)
0	5秒保持可能
1	5秒以内に下垂
2	重力に抗するが5秒以内に落下
3	重力に抗する動きが見られない
4	全く動きなし
	四肢近位部に痛覚刺激を与える 「工党
0	正常
] 二 新:	異常 呱称力。 ドロス物の名前を思わる
	呼称カードにて物の名前を尋ねる。 文章カードから少なくとも3つの文章を読ませる
0	正常
1	軽度の失語
2	高度の失語
3	無言または全失語
	両側の2点同時の皮膚刺激、視覚刺激を与える
0	正常
1	軽度の無視
2	高度の無視
_	1. 2.2.4 - VIII IVB

合計点から

合訂点から	
点数	結果
0	脳卒中なし
1~4	軽度の脳卒中
5~15	中等度の脳卒中
16~20	中~重度の脳卒中
21~41	重度の脳卒中